

## 平成 27 年度大阪府立西野田工科高等学校 定時制の課程 第 3 回学校協議会

□日 時：平成 28 年 1 月 21 日（木）午後 18:30～ 午後 20:30

□出席者：委員 6 名、准校長、教頭、教務部長、進路部長、生徒部長、記録担当者

□第一部：会長あいさつ、准校長あいさつ

□第二部：報告および協議

◆授業アンケート結果について

- ・「平成 27 年度第 2 回授業アンケート（12 月実施）」について説明
- ・今年度の傾向および第 1 回・昨年度との比較

◆平成 27 年度学校教育自己診断について

- ・「平成 27 年度学校教育自己診断（12 月実施）」について説明
- ・今年度の傾向および昨年度との比較

◆模擬選挙見学

◆学校経営計画及び学校評価に関する意見交換

- ・「平成 27 年度学校経営計画および学校好評価」について説明
- ・「平成 28 年度学校経営計画および学校好評価」について説明

◆学校状況の報告

- 教務部（総括）
- 生徒部（総括）
- 進路部（総括）

◇委員からの意見

- ・言い続けることが大切であり、言われた生徒は悪いことだと分かっている。それが分かっているからこそ、そういった生徒が減少している。
- ・生徒が取り組みたいと思うような授業の工夫、単に前を向いて聞いているだけではなく、「参加した」と実感を持てるような授業づくりなど、先生方の工夫が中退防止につながっている。
- ・教育相談について、個人的に相談を受けて終わってしまうのではなく、教員全体の課題として生徒の悩みを受け止める体制が大切である。
- ・携帯電話の指導も、適切な指導であるから生徒自身も悪いことだと認識し指導されることを生徒自身分かっている。生徒の実態をふまえた生徒指導、より良い環境づくりのために、「できない」だけではなく指導する姿勢が必要である。
- ・学校が見捨てないで見てくれているのであれば学校と生徒はつながる。電話連絡をして本人が出なくとも、その事実は本人に伝わる。そういった先生方の地道な努力が結果につながっている。

◆まとめ

- 生徒指導において、生徒に言い続けることが大切であり、「できる・できない」だけではなく指導する姿勢が必要であり、生徒の実態にあわせた生徒指導を続けていただきたい。
- これからも、生徒が実感をもてるような授業づくりを続けていただきたい。
- 保護者・卒業生がこれまで以上に学校行事に参加できるような情報発信をしていただきたい。
- 本校では若手教員が頑張っているので、生徒も一緒に頑張るという形で取り組んでいきたい。
- 先生方の努力が良い方向に向かっており、課題は何であるか、それに対して具体的にどのように取り組んでいくのかが確かなものになってきているので、引き続き取り組んでいただきたい。